

藤田康介さん 日本人ではじめて中国の国家資格「主治医師」を取得する

上海在住の日本人中醫師・藤田康介さんが、日本人として始めて中国の国家資格「主治医師」を取得しました。数々の困難を越えて獲得した貴重資格です。

藤田康介さん談：

「主治医師」とは？

中国では、大学卒業後に医師資格を取得し、まずは住院医師として働きます。そのあと主治医、副主任医師、主任医師と順番に職稱と呼ばれる資格を臨床経験年数などの条件に応じて取得していきます。しかし、これまで外国人には職稱の受験資格さえ与えられませんでした。2015年から中国の永住権取得者の受験が可能になり、永住権取得の準備も含めて8年越しで今回の中医内科学での主治医資格に合格できました。日本人では初めて、外国人でもおそらく初めての合格



になると思います。職稱は中国国家中医薬管理局が試験を行う中国全国共通の国家資格でもあり、科目は中医基礎理論、診断学、方剤、中薬学をはじめ、四大經典、中医内科学や西洋医学の診断学基礎、伝染病、心理学、倫理学、法律など14科目です。コンピューターによる択一試験でした。試験大綱及び練習問題は出版されていて、それを中心に復習していきます。

この資格は、老中医の継承など、さらに上を目指して勉強してゆくためには必要不可欠の資格で、何かと役立つはずですが、今後は、次の副主任医師の資格を取ることになりますが、これも外国人の前例がなく、しばらくまた研究を深めてゆきます。これからも中国の中醫師制度のなかに深く潜り込んで、探求していきたいと思っております。

藤田康介さんプロフィール

1974年大阪生まれ。1996年より上海在住。上海中医薬大学医学部入学後、同大学院博士課程修了。2005年に中国の医師国家試験に合格。日本人ではじめて中医学の医学博士号(中医内科学専攻)を取得した中医学の執業医師。上海中医薬大学附属竜華医院、上海徐匯区中心医

院、上海鼎瀚中医クリニックを経て現在上海東和クリニック医師。中医腎臓内科の専門家・陳以平教授に師事。中国の永住権を取得した数少ない日本人。上海甘霖健康管理諮詢有限公司董事長。2016年に日本人で初めて中医内科学での主治医資格を取得。

共訳著に『標準・中医内科学』（東洋学術出版社）など。

『中医臨床』に中国中医の情報を提供。

ブログ「わが愛しの上海へ」(<http://www.mdfujita.jp/>)を執筆中。